

令和5年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)

Happy+Natural
Happy+challenge

(保育目標)

げんきな子 やさしい子
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている

B：わりとできている

C：一部改善が必要

D：改善しなければならない

| | 内容 | 前年評価 | 今年評価 | 現状・課題 |
|---------|---|------|------|---|
| 保育目標に | (1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している | C | B | 法人理念に基づいて保育を目指しているが、実現までは難しい場面がある。次年度も話し合いを大切に、擦り合わせできるようにしていく。 |
| | (2)子ども一人一人の主体性を大切に保育をしている | B | B | |
| | (3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している | C | C | |
| 保育について | (1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている | B | B | 環境については人的・物的環境があるが、両方においてうまく運営ができていないクラスと悩んでいるクラスがある。その背景には各クラスでペアの職員がいる為、職員間でコミュニケーションが難しいのも考えられる。今後もコミュニケーションが取れるように対話を大切にしていきたい。 |
| | (2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている | B | B | |
| | (3)素材・用具を適切に使用している | B | C | |
| | (4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している | C | C | |
| | (5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている | C | B | |
| | (6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい | C | C | |
| 食育について | (1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている | C | C | 食育計画表に基づき食育活動を行っているが、子どもの実態に沿ったものになっているか、マンネリ化していないかなど次年度の課題である。 |
| | (2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている | B | B | |
| | (3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている | A | A | |
| 役員研修・分擔 | (1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている | D | C | 仕事の役割が明確にしようと計画を立てているが、計画通りにいかず、結果混乱させてしまっている現状がある。次年度はそれぞれの役割分擔をしっかりと把握し、遂行できるようにしていきたい。 |
| | (2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている | C | B | |
| | (3)園内外の研修は計画を立て実行している | B | C | |

| | | 前年評価 | 今年評価 | |
|----------|---|------|------|---|
| 保護者支援・情報 | (1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている | B | B | 職員は丁寧に保護者対応をしていると感じるが、年度末のアンケートでは違った意見もでていた為、もう一度保護者支援について考える必要がある(職員の思いだけになっていないかなど)。また、園だよりなども保護者がどのような情報が知りたいのかアンケートをとるのも一つの方法ではないかと考える。 |
| | (2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている | B | B | |
| | (3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている | B | A | |
| | (4)園だより、ドキュメンテーション、きつずノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している | B | C | |
| | (5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している | A | A | |
| | (6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している | B | B | |
| 開かれた保育園 | (1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ | A | A | 配慮を要する園児に関しては保護者と話し合いながら、適宜関係機関と連携をとっている。今後も同様に子どもを一番に考えてよりよい生活になるように努めていく。 |
| | (2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している | B | B | |
| 子育て支援 | (1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている | D | D | 法人SNSで自園の保育の取り組みを発信している。(1)は今年度もできなかった為、次年度は実施できるように計画をしている。 |
| | (2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている | C | B | |
| | (3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している | C | C | |

総合的な現状と課題

今年度は職員の入れ替わりが激しく、子ども達や保護者に不安を与えてしまった。このことを踏まえ、人材確保や職員定着がいかに重要かを再度認識した。次年度以降は、職員体制を整え子ども達や職員一人ひとりが共主体保育の実現ができるように努めていきたい。

園名 ひなたの風保育園 氏名 岡本 満江